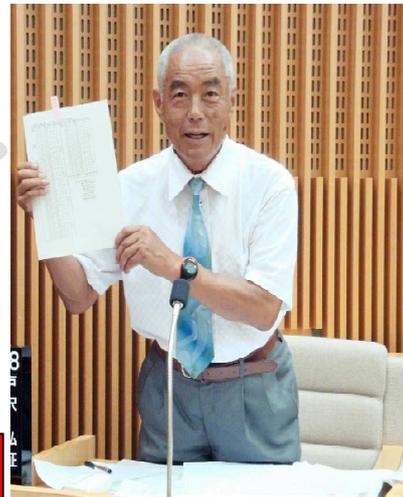


9月議会

戸沢ひろゆき議員の一般質問

日本共産党戸沢ひろゆき議員は ①日本の勤労者の4人に一人が所得で年収200万円以下のワーキングプア層が1千万人となっている雇用関係が続く中、市役所・市長がもっと市民の中に入り込み、出向く市役所・出前市長室を開設すべきだと提案。②旧秋川高校跡地を中心に市街化区域にして産業系の土地利用にする問題。③あきる野の基幹産業として農業振興のためファーマーズセンターの改造について一般質問をしました。



戸沢ひろゆき 558-9721

公式あきる野ホームページで議会動画配信がされています。ぜひ訪問してください。

ホームページ <http://www.icp-akiruno.com/tozawa/>

「出向く市役所・出前臨時市長室」開設を提案

介護・医療・年金・雇用関係の相談から、子育ての悩みなど、今日の社会情勢から市民の悩みが増えています。市役所に窓口はあるが、思い切って行政は地域に足を踏み込み「出向く市役所・出前臨時市長室」開設を計画すべきと提案しました。

市側は毎月、法律相談、人権の上相談、暮らしの手続き相談や市長の手紙制度(過去共産党議員団が提唱)などしており、出向く市役所の考えはないと答弁しました。副市長が市民の声を伺う機会は必要だと回答。戸沢議員は市民との「協働」として各種補助金をカットしたが、財政難について説明が必要だと強調しました。

秋川高校跡地計画の進捗について

都立秋川高校の敷地はメタセコイア並木を残して更地にされました。市は、産業系企業の誘致を目的に秋川高校跡地を中心とした77.7haを市街化区域にする土地利用計画ですが、どのように事業展開をすすめていくのかを問いました。市側は市街化区域への編入について現在協議中と述べ、具体的な答弁はしませんでした。戸沢議員は過去の土地利用計画である福祉・教育ゾーンとすべきで、産業系は時代的に合わないことを強調しました。



メタセコイアの並木が残り更地になった秋川高校跡地



旧秋川高校校舎

ファーマーズセンターの大規模改築計画について (パートⅢ)

戸沢議員は、これまで再三にわたり秋川ファーマーズセンターの改造計画を提案してきました。

新年度の予算編成にあたり、改築の協議がどのようにされているかを質問しました。市はファーマーズセンターの農畜産物直売運営の関係者と、近郊にある先進市の施設を研修する計画だと積極的な回答がされました。



大規模改築が待たれるファーマーズセンター



盛況な秋川ファーマーズセンター

日本共産党 jcp-akiruno.com/
あきる野市議団ニュース

●177号●2010・10・17●Tel・Fax 558-1134

日本共産党あきる野市議団は以上の見解を発表しました。市民のみなさんの御意見をお聞かせください。

法律相談

10月28日(木) 午後1時半～3時

弁護士と会場の関係で事前の予約が必要です。お気軽に市議団にご連絡ください。